

9 消 防 費

1, 748, 238, 447円

項 目	ペー ジ
消 防 費	
防災対策費……………	481

防 災

常備消防としては、本年度も東京都に事務委託をし、東京消防庁青梅消防署を中心に多様化する災害への対応を図るとともに、防災および救急体制の充実に努めた。

消防団においては、正副団長の任期満了に伴い、山田和正、原島一博両副団長をはじめ団員94名が3月31日付けをもって退職した。

青梅市消防団に対し積極的に協力いただいている市内2事業所に、青梅市消防団協力事業所表示制度実施要綱にもとづき、消防団協力事業所表示証を交付した。

また、公務災害防止を目的として、消防団危険予知トレーニング（S-KYT 研修）を実施した。

災害対策については、近年、局地的な集中豪雨により甚大な被害が発生していることを踏まえ、土砂災害警戒区域における情報伝達や避難誘導、要配慮者支援などについて、市および関係防災機関、市民等が一体となった風水害対策訓練を6月25日に東京都と合同で実施した。さらに、8月27日に青梅市立第四小学校校庭において総合防災訓練を実施し、防災関係機関相互の連携の強化、防災計画の運用習熟を図るとともに、併せて市民の防災意識の高揚と災害対応力の強化を図った。

消 防 費

1, 748, 238, 447円

○ 防 災 対 策 費 （1, 748, 238, 447円）

[防災課]

1 常備消防経費

(1) 事務委託費の収支明細

区 分	平成29年度 事務委託費	青梅消防署 青年間所要額	東京都負担金
金額	1,377,806千円	2,273,840千円	896,034千円

(2) 青梅消防署の現況

ア 消防吏員数

(単位：人)

署・出張所	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務	合計
本 署	1	3	12	27	35	29	7	2	116
日向和田	0	0	1	7	12	13	5	0	38
長 淵	0	0	1	7	10	5	3	0	26
合 計	1	3	14	41	57	47	15	2	180

イ 車両保有数

(単位：台)

区 分	本 署	日向和田出張所	長淵出張所	合 計
消防ポンプ車	3	2	2	7
ハシゴ車	1	—	—	1
化学車	1	—	—	1

(歳出 9 消 防 費)

区 分	本 署	日向和田出張所	長 淵 出 張 所	合 計
救 助 車	1	—	—	1
救 急 車	2	1	1	4
広 報 車	3	—	—	3
指 揮 車	1	—	—	1
指 揮 隊 車	1	—	—	1
人 員 輸 送 車	1	—	—	1
山 岳 救 助 車	1	—	—	1
資 材 輸 送 車	—	2	—	2
指 揮 統 制 車	1	—	—	1
消 防 活 動 二 輪 車	—	3	—	3
合 計	16	8	3	27

※ 本署救急車1台、本署・長淵出張所消防ポンプ車各1台、日向和田出張所消防活動二輪車1台は非常用車両

ウ 消防ポンプ車等の出動状況

(単位：延台数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
692	666	649	809	714	656	676	742	805	957	679	648	8,693

エ 救急車の出動状況

(単位：回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
494	460	443	571	478	449	467	495	557	678	472	440	6,004

2 消防団運営経費

(1) 消防団火災等出動状況

(単位：件、人、回)

火 災 出 動					水 災 出 動			そ の 他 出 動	
火 災 件 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	1 回 平 均 団 員 数	団 員 1 人 平 均 回 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	
31	29	1,150	40	2.0	0	0	211	4,605	

(2) 消防団員等損害補償

(単位：円)

所 属	傷 病 名	原 因	療 養 補 償 費	休 業 補 償 費	休 業 援 護 金	合 計
第 5 分 団	右膝半月板損傷	火 災 出 場 途 上	701,574	0	0	701,574
第 5 分 団	腰椎捻挫	操 法 大 会 練 訓	280,084	0	0	280,084
第 3 分 団	左大腿二頭筋部分断裂	出 初 式 練 訓	8,886	0	0	8,886
合 計	—	—	990,544	0	0	990,544

(3) 消防団員退職状況

(単位：人)

勤務年数	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	合 計
退職人員	38	15	33	12	3	5	106

(4) 消防団出初式

1月7日(日)、永山公園グラウンドにおいて、消防団恒例の出初式を挙行し、成績優秀な分団、部および団員ならびに消防団活動に協力のあった団体について表彰した。

また、市内2事業所に対する消防団協力事業所表示証の交付や青梅市青少年吹奏楽団の協力により、記念演奏を行った。

ア 市長表彰

無火災竿頭綬 第1分団・第4分団

イ 団長表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
永 年 勤 続 功 労 章	該当なし
表 彰 状 お よ び 表 彰 き 章	第7分団第4部 副部長 野崎 智 以下 36人
精 績 章	第3分団本 部 副分団長 小林 正寿 以下 59人
精 勤 章	第4分団第4部 団 員 原島 匡史 以下 7人

ウ 分団表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
表 彰 状	第31回西多摩地区消防大会出場分団 第5分団、第6分団

エ 一般表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 団 体
消防団の支援および発展に寄与した功績	団 体
	青梅市自治会連合会第1支会 青梅市自治会連合会第4支会

(5) 消防団上部団体等からの表彰

ア 東京都消防褒賞 団 本 部 副 団 長 山 田 和 正
第 5 分 団 分 団 長 渡 邊 康 章
第 6 分 団 分 団 長 神 山 信 二

イ 日本消防協会定例表彰 精 績 章 団 本 部 副 団 長 松 原 正 嗣

ウ 東京都消防協会定例表彰 功 労 表 彰 第 1 分 団 副 分 団 長 海 藤 弘 次
以下 3 人
優 良 表 彰 第 1 分 団 部 長 細 谷 公 法
以下 9 人

エ 東京都三多摩消防団連絡協議会表彰 優 良 表 彰 第 5 分 団

(歳出 9 消 防 費)

才 西多摩地区消防団連絡協議会表彰

功 勞 章 団 本 部 副 団 長 堀 内 一 匡
以下 3 人

精 績 章 団 本 部 副 団 長 松 原 正 嗣
以下 14 人

永 年 勤 続 功 勞 章 団 本 部 副 団 長 松 原 正 嗣
以下 19 人

力 東京消防庁青梅消防署長表彰

消 火 活 動 功 勞

第 1 分 団 第 1 部 ・ 第 1 分 団 第 3 部

第 2 分 団 第 1 部 ・ 第 2 分 団 第 2 部 ・ 第 2 分 団 第 3 部

第 2 分 団 第 4 部 ・ 第 2 分 団 第 5 部 ・ 第 2 分 団 第 6 部

(6) 消防団協力事業所表示証交付

御岳登山鉄道株式会社

青梅信用金庫

(7) 消防団運営費交付金支給状況

支給総額 19,599千円

(単位：人、千円)

区	分	本 部	第 1 部	第 2 部	第 3 部	第 4 部	第 5 部	第 6 部	合 計
団本部	算定人員	585	—	—	—	—	—	—	—
	金 額	1,001	—	—	—	—	—	—	1,001
第1分団	算定人員	84	18	15	18	15	16	—	—
	金 額	611	439	390	439	390	406	—	2,675
第2分団	算定人員	88	12	13	16	16	15	14	—
	金 額	598	313	356	353	393	390	320	2,723
第3分団	算定人員	60	16	12	14	16	—	—	—
	金 額	533	380	340	373	379	—	—	2,005
第4分団	算定人員	82	18	12	10	13	10	17	—
	金 額	592	386	340	307	357	294	409	2,685
第5分団	算定人員	75	16	17	16	24	—	—	—
	金 額	585	406	423	406	558	—	—	2,378
第6分団	算定人員	66	16	17	18	13	—	—	—
	金 額	557	406	429	439	357	—	—	2,188
第7分団	算定人員	51	15	15	9	10	—	—	—
	金 額	516	390	409	290	307	—	—	1,912
第8分団	算定人員	63	17	14	16	14	—	—	—
	金 額	537	396	333	393	373	—	—	2,032

※ 団本部運営費については、女性部分（算定人員 11名 金額 206,500円）含む

(8) 市内火災発生状況

ア 地区別火災発生状況

(単位：件、㎡、円、人)

分 団	建 物			林 野			そ の 他			合 計			死 者	傷 者
	件 数	焼 失 面 積	損 害 額	件 数	焼 失 面 積	損 害 額	件 数	焼 失 面 積	損 害 額	件 数	焼 失 面 積	損 害 額		
1	1	0	100	0	0	0	0	0	0	1	0	100	0	0
2	1	0	200	0	0	0	3	0	44,260	4	0	44,460	0	0
3	8	12	953,430	0	0	0	5	0	3,132,602	13	12	4,086,032	0	2
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	1,400	0	0	0	0	0	0	1	0	1,400	0	2
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	1	0	70,000	1	0	70,000	0	0
8	8	53	3,389,535	0	0	0	3	0	0	11	53	3,389,535	1	2
合計	19	65	4,344,665	0	0	0	12	0	3,246,862	31	65	7,591,527	1	6

イ 月別火災発生状況

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	2	4	2	0	4	3	1	3	5	0	3	31

ウ 原因別火災発生状況

(単位：件)

放 火	煙 草	火遊び	ガス・ストーブ	電気配線	暖房器具	たき火	花 火	その他	合 計
8	3	1	1	2	1	0	0	15	31

※ 火災原因その他内訳

ライター3件、車両3件、電気恒温器1件、火のついた紙1件、焼却火1件、簡易型ガスコンロ1件、取灰1件、凸レンズ1件、アセチレンガス溶断器1件、不明2件

(9) 消防団の活動

ア 西多摩地区消防大会

9月23日(土)、日の出町民グラウンドにおいて第31回西多摩地区消防大会が開催され、小型動力ポンプの部に第5分団が、自動車ポンプの部に第6分団が出場した。

イ 消防団主要行事

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所
4月	13日	西多摩地区消防団連絡協議会総会	あきる野ルピア
	18日	東京都三多摩消防団連絡協議会総会	パレスホテル立川
	28日	東京都消防協会総会	スクワール麴町
5月	13日	専科教育(警防科)	東京都消防訓練所
	20日	専科教育(機関科)	東京都消防訓練所
	21日	S-KYT 研修	青梅市役所
	29日	市内危険箇所打合せ	青梅市役所
	30日	青梅市防災会議	青梅市役所

(歳出 9 消 防 費)

月 日	行 事 内 容	実 施 場 所
6月 4～5日	西多摩地区消防団連絡協議会団長研修	福島県いわき市ほか
10日	専科教育（救急科）	東京都消防訓練所
25日	東京都・青梅市合同風水害対策訓練	明星大学
7月 1日	幹部教育研修（初級）	東京都消防訓練所
1～2日	団幹部研修視察	新潟県糸魚川市ほか
9日	青梅市消防団震災対応訓練	市内各所
8月 5日	青梅市納涼花火大会特別警戒	永山公園グラウンドほか
27日	青梅市総合防災訓練	青梅市立第四小学校
9月 2日	上級救命講習会	青梅消防署
16～17日	幹部教育研修（指揮）	東京都消防訓練所
23日	第31回西多摩地区消防大会	日の出町民グラウンド
10月 21日	第47回東京都消防操法大会	東京都消防訓練所
11月 4～5日	青梅市産業観光まつり（消防団PRコーナー設置）	永山公園グラウンド
7～8日	東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修	陸上自衛隊相馬原駐屯地ほか
9～15日	秋の火災予防運動	市内全域
10～11日	消防ポンプ車・小型動力ポンプ点検	市内各所
12日	非常招集訓練、機関運用訓練	市内各所
18日	東京消防庁震災消防演習	明星大学ほか
25～26日	東京都消防協会幹部視察調査研修会	熊本県益城町ほか
12月 9日	専科教育（救助科）	東京都消防訓練所
25日	消防団無線交信試験	市役所防災課・市内各所
25～31日	歳末警戒	市内全域
30日	歳末警戒分遣所巡視	市内各所
1月 1日	初詣特別警戒	市内各所
7日	青梅市消防団出初式	永山公園グラウンド
21日	青梅市防災講演会	青梅市役所
26日	文化財防火デー 消防団・消防署合同演習	塩船観音寺
2月 11日	幹部教育研修（上級）	東京都消防訓練所
18日	第52回青梅マラソン特別警戒	市内各所
3月 1～7日	春の火災予防運動	市内全域
4日	非常招集訓練、山林パトロール	市内各所
7日	消防団・消防署合同演習	御岳山

ウ 備品の購入・配布状況

(ア) 消防ホース

(単位：本)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
5	6	4	6	4	5	5	4	39

(イ) 防火服

(単位：着)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
10	13	8	13	8	9	9	8	78

3 災害対策経費

(1) 防災講演会

「防災とボランティア週間」に合わせて、1月21日に青梅市役所において、東日本大震災での実際の体験談など、市民の防災意識の高揚を図ることを目的として、防災講演会を開催した。

ア 地域防災は自助・共助 災害に負けない地域づくり

講師 三浦 貞一 氏

(災害伝承10年プロジェクト災害伝承語り部)

(一般社団法人岩手県建設業協会遠野支部長)

イ 参加者

269人

(2) 震災および風水害等の対策

ア 10月の台風21号

(ア) 雨量の状況

観測地点	10月20日12時から23日6時 累計雨量 (mm)	時間最大雨量 (mm)
市役所本庁舎	302.5	26.5 (23日3時)
梅郷市民センター	297.0	26.0 (23日3時)
御岳山防災センター	241.0	20.0 (23日3時)
小曾木市民センター	289.5	27.0 (23日1時)
第7分団第3部詰所	296.0	26.0 (23日1時)
新町市民センター	291.5	26.0 (23日1時)

(イ) 市の体制等

22日(日) 8時45分 大雨注意報発表

12時44分 洪水注意報発表

12時50分 準備体制(情報収集体制)

16時23分 大雨警報(土砂災害)発表

16時23分 第1号注意体制(災害対策連絡室設置)

19時05分 避難準備・高齢者等避難開始発令

防災行政無線放送、メール配信、ホームページ、ツイッター、公共情報 commons にて周知

青梅市役所、市民センター(青梅・成木を除く)で自主避難者受け入れ体制

19時17分 大雨警報(浸水害)発表

23日(月) 0時44分 洪水警報発表

8時13分 洪水警報解除

8時30分 避難準備・高齢者等避難開始解除

9時30分 第1号注意体制解除

17時11分 大雨注意報解除

20時36分 洪水注意報解除

(歳出 9 消 防 費)

(ウ) 被害状況

公共施設等では、雨漏り等10件、道路では、冠水等17件、その他、土砂崩れ等21件が発生した。

イ 災害対策用備蓄品の購入

(単位：千円)

品名	規格	数量	金額	備蓄倉庫
カンパン	100食入り	111箱	1,439	第二小学校、第六小学校、成木小学校、第七中学校、沢井市民センター、成木市民センター、青梅市役所
アルファ 化米	白米 50食入り	119箱	1,363	沢井市民センター、成木市民センター 青梅市役所
	五目 50食入り	59箱	822	
飲料水	1本あたり490ml アルミ製 1箱24本入り	5,016本	618	第一中学校、第二中学校、第三中学校、西中学校、第六中学校、第七中学校、霞台中学校、吹上中学校、新町中学校、泉中学校
組み立て式 簡易トイレ	—	15台	69	沢井市民センター、東青梅市民センター、河辺市民センターほか
パーソナル テント	—	15張	128	沢井市民センター、東青梅市民センター、河辺市民センターほか

ウ 災害時等における応援協定等の締結について

名称	締結日	締結先
災害時における昼の提供に関する協定	4.27	5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会
避難標識設置に関する協定	4.27	NPO法人都市環境標識協会、(株)有明電装
災害時における施設使用等に関する協定	8.1	東京都
非常災害時等における情報収集等の協力に関する協定	9.6	青梅アマチュア無線クラブ
災害時における資機材の提供に関する協定	9.13	株式会社やまびこ

エ 青梅市における気象

(ア) 降水量

(単位：mm)

観測場所	降水量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市役所	月合計	64.5	70.0	85.0	184.5	284.5	150.0	556.5	17.0	10.5	39.5	17.0	210.0	1689.0
	日最大	33.0	32.0	52.0	50.0	90.5	48.0	171.5	11.0	8.5	17.0	9.5	65.0	-
	時間最大	5.0	10.0	12.0	27.0	26.5	7.5	26.5	2.5	6.0	6.0	2.5	12.5	-
新町市民センター	月合計	68.5	61.0	81.5	167.5	271.5	146.0	552.5	18.0	10.5	34.5	16.0	209.5	1637.0
	日最大	33.5	31.5	52.0	43.0	84.0	44.5	158.5	10.5	8.5	15.0	9.5	65.5	-
	時間最大	5.0	4.5	12.0	28.0	41.0	8.0	26.0	2.5	6.0	4.5	4.0	12.0	-
小曾木市民センター	月合計	67.5	64.5	81.0	229.0	283.0	154.0	553.5	15.0	10.0	37.0	17.5	202.5	1714.5
	日最大	34.5	34.0	52.5	69.0	81.0	48.5	164.5	10.0	7.5	17.5	10.5	60.0	-
	時間最大	5.0	4.5	12.0	65.5	22.5	8.0	27.0	2.5	5.0	5.5	3.0	12.0	-
第7分団 第3部2班 詰所	月合計	74.5	67.0	99.0	280.0	368.5	201.5	564.0	15.0	9.0	34.5	19.5	190.0	1922.5
	日最大	33.5	25.0	45.0	78.5	90.5	63.5	165.0	11.0	6.5	15.0	14.5	54.0	-
	時間最大	5.5	6.0	12.0	55.5	49.5	12.0	26.0	3.5	3.5	4.5	2.5	13.0	-
御岳山防災センター	月合計	82.5	66.0	72.0	161.0	298.0	206.0	522.5	23.0	10.5	34.5	19.5	208.0	1703.5
	日最大	33.5	29.0	40.5	50.0	69.5	66.0	128.0	15.5	9.5	11.5	7.5	61.5	-
	時間最大	6.0	7.0	9.5	13.5	18.5	7.5	20.0	5.5	5.0	6.0	2.0	12.5	-
梅郷市民センター	月合計	69.5	67.0	78.5	195.5	334.5	169.0	560.5	19.5	9.0	38.5	18.5	203.0	1763.0
	日最大	33.5	33.0	44.5	38.5	64.0	53.0	168.0	12.0	7.5	17.5	13.0	60.0	-
	時間最大	5.0	6.0	10.0	24.0	39.0	9.0	24.0	3.0	5.0	5.5	2.5	11.5	-

(イ) 気温・風向・風速

(単位：℃、m/s)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
アメダス 情報	気温	平均	日平均	13.5	19.1	21.1	26.6)	25.4	21.7)	15.8	9.7	4.3	2.5	3.3	10.0
		日最高	20.0	25.2	26.8	31.8)	30.0	26.9)	19.8	16.0	11.0	8.8	9.6	16.5	
		日最低	7.6	13.7	16.6	22.7)	22.1	17.7)	12.4	4.4	-1.4	-3.4	-2.3	4.0	
	最高	27.1	32.4	32.0	35.2)	37.2	34.2)	29.3	23.0	15.9	16.9	15.0	24.6		
		最低	1.9	7.5	11.8	20.3)	18.5	14.5)	6.0	-1.0	-5.5	-9.3	-6.2	-1.5	
	風向・風速	平均風速	1.6	1.3	1.2	1.2)	0.9	1.0)	0.8	0.9	1.1	1.2)	1.3)	1.5	
最大			風速	6.5	4.9	5.0	4.6)	4.9	6.2)	4.4	3.9	4.5	5.5)	5.0)	7.3
最大瞬間		風向	南南西	南	南	南南東	東南東	南	西北西	北西	北北東	西	北	西	
		風速	13.0	10.6	10.3	10.6)	12.8	15.5)	13.7	13.5	10.4	14.1)	11.5)	14.7	
瞬間	風向	南南西	北	北西	南南東	南南東	南南西	北西	西北西	北北東	西	北北東	西		

値)：準正常値…品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合。

情報は気象庁が観測するアメダス情報による。

アメダス設置場所 都農林総合研究センター青梅庁舎 (新町6-7-1)

(3) 青梅市防災会議

ア 青梅市防災会議委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		野崎啓太郎	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	
大塚満	指定地方行政機関職員	4. 1就任	鹿児島武志		6. 23退任
能村眞和	自衛隊員		江本浩		6. 24就任
西村健	都職員	4. 1就任	百瀬澄雄		
渡部裕之		4. 1就任	岩浪登		
内山聡		4. 1就任	高橋正		
浅野雄二	警察官		酒井政修		
石田孝二	消防史員	4. 1就任	合崎福男		
川鍋重美	消防団長		比留間啓之		
池田央	副市長		舘盛和		
岡田芳典	教育長		大越正則		
佐藤祥	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	4. 1就任	原島初江		
三宮洋人		10. 31退任	小林弘政		
宮沢文寿		11. 1就任	伊藤浩		
高木諭介		6. 30退任	伊藤武夫	自主防災組織代表者	6. 12退任
佐藤永一		7. 1就任	宮口泉		6. 13就任
田森都美子			加藤めぐみ	学識経験者	
梅田純一			原義人	病院事業管理者	
中村洋介			原島和久	市職員	

◎は会長

イ 防災会議の開催

月日	内容
5. 30	平成29年度青梅市総合防災訓練について

(4) 総合防災訓練

8月27日午前8時から第四小学校校庭等において、防災関係機関相互の連携強化および市民の防災意識の高揚と災害対応能力の強化を図るため、立川断層帯地震等を想定した総合防災訓練を実施した。

(5) 自主防災組織等運営費交付金

ア 運営費交付金

自主防災組織の運営費として、11組織に対し各131,000円を交付した。また、青梅市まとい会の活動助成金として、100,000円を交付した。

イ 防災士育成事業交付金

自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費として、8組織に対し総額492,960円を交付した。

また、3月25日に防災リーダーの育成を目的とした防災リーダー講習会を実施し、防災士や自主防災組織等から41人が参加し、防災士の情報交換や初期消火等の訓練を行い、防災リーダーの育成を図った。

(6) 市内危険箇所調査

5月29日に関係官庁および消防団による市内危険箇所の打合せ会を開催し、各危険箇所に関する対応を協議した。

また、その結果は、7月14日に開催した青梅市防災機関事務担当者会議で防災会議機関に報告した。

なお、危険箇所は、次のとおりである。

ア 法律等にもとづく箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	勝沼2-205-60 ほか	石積倒壊	石積の倒壊の危険性がある。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
2	根ヶ布1-652-9	擁壁崩壊 土砂流出	擁壁の整備および土砂流出の 予防措置が不適切と思われる。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
3	根ヶ布2-1372-63	斜面崩壊	法面の保護がなされていない ため、家屋へ危険を及ぼす恐れ がある。	一部土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
4	梅郷6-1535-4 付近	斜面崩壊	多摩川右岸の傾斜面が雑排水 等により一部崩壊しており、さ らに崩壊する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	友田町1丁目地内	建物浸水	家屋が浸水する危険がある。	多摩川に係る浸水想定区域 洪水予報個別対応地区

イ 過去に被害が発生した箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	今寺1-808-13 付近	建物浸水	大門川の溢水により床下浸水 および道路・宅地が冠水した。	
2	今井3-4-24付近 ほか	建物浸水	大雨の際に道路冠水、床上・床 下浸水および工場浸水があっ た。	

ウ 地形等から危険が想定される箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	柚木町1-194先	建物浸水	大雨により多摩川が増水した際、民間保養施設来場者に人命危険が考えられる。	
2	河辺町1-800付近	斜面崩壊	南斜面にオーバーハングが見られ崩壊の危険がある。崩落発生の場合は、建物3棟に影響の恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
3	畑中2-149-2付近	斜面崩壊	住家から4～5m離れたところが垂直な崖となっており、大雨・地震等による崩落があると、人的被害が考えられる。	土砂災害特別警戒区域
4	長淵1-21-12付近	斜面崩壊	多摩川右岸の住宅下、傾斜面3箇所が崩落しており、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	吹上132-1先	擁壁の倒壊 家屋の傾き	擁壁の倒壊の危険性および家屋の傾きがある。	宅地造成等規制法にもとづく規制区域
6	二俣尾4-1194付近	斜面崩壊	住宅南側斜面が崩落しており、年々崩落が進んでいる。	土砂災害特別警戒区域

(7) 東京都・青梅市合同風水害対策訓練

6月25日午前8時から青梅市役所災害対策本部室、各市民センター、明星大学青梅キャンパスほかにおいて、土砂災害警戒区域における情報伝達や避難誘導、要配慮者支援などを踏まえ、市および関係防災機関、市民等が一体となった風水害対策訓練を東京都と合同で実施した。

(8) 家具転倒防止器具等支給取付事業

家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行うことにより、震災時における人的被害の軽減を図ることを目的として実施した。

支給・取付世帯数

該当要件	立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域内の世帯のみに該当	高齢者世帯のみに該当	障害者世帯のみに該当	複数の要件に該当	合計
世帯数	23	6	1	15	45

※ 立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域

駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井内の世帯（丁目表示のないものは、その町名区域内全域が対象）

(9) 国民保護協議会

国民保護協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		梅田純一	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員	
能村眞和	自衛隊員		中村洋介		
石坂弘司	都職員		野崎啓太郎	知識経験者	
渡部裕之		4.1就任	江本浩		6.24就任
内山聡		4.1就任	鹿児島武志		6.23退任
浅野雄二			百瀬澄雄		
石田孝二	消防吏員	4.1就任	岩浪登		
川鍋重美	消防団長		高橋正		
池田央	副市長		酒井政修		
岡田芳典	教育長		合崎福男		
佐藤祥	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員	4.1就任	比留間啓之		
宮沢文寿		11.1就任	舘盛和		
三宮洋人		10.31退任	大越正則		
佐藤永一		7.1就任	原島初江		
高木諭介		6.30退任	原義人	市職員	
田森都美子			原島和久		

◎は会長

4 消防施設維持管理経費

消火栓の設置

(単位：基)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
0	0	0	0	0	1	0	0	1

5 防災行政無線維持管理経費

(1) 固定系

市内126か所に設置している固定系受信所の機械・設備等の点検を目的として、1日1回(4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時)のチャイム放送を実施した。また、小学生の下校時に合わせ、小学生の見守り放送を行うとともに、臨時放送(火災の発生・鎮火など)を実施した。

(2) 移動系

災害時における情報の伝達・収集に活用した。

6 消防施設整備経費

(1) 備品の購入・配布状況

品名	区分	配布先	数量
小型動力ポンプ	更新	第1分団第4部以下3部	3台
背負い式散水装置	更新	第1分団第4部以下5部	6台

(2) 防火水槽撤去工事

(単位：千円)

種別	工 事 内 容	契約金額	受 注 者	施 工 場 所	契約工期
市単	防火水槽（丸型 40 m ³ 級）撤去	4,895	(株) 丸 専 土 建	大門 1 丁目地内	4.25～6.22

7 防災行政無線整備経費

固定系防災行政無線の難聴地区対策として、成木地区の土砂災害警戒区域を対象に簡易受信システムを整備した。

8 急傾斜地崩壊防止事業経費

(1) 急傾斜地崩壊防止工事

工事に当たり、東京都に対し、3地区の負担金を支払った。

(単位：円)

名 称	金 額	市 負 担 率
河辺町 1 丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	4,491,144	10%
長淵 1 丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	1,584,892	
千ヶ瀬町 1 丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	3,050,000	

(2) 前年度繰越事業（繰越明許費）

(単位：千円)

名 称	金 額	28年度支払額	29年度支払額	備 考
急傾斜地崩壊防止工事負担金	27,175	20,977	6,198	河辺町 1 丁目地区 長淵 1 丁目地区 千ヶ瀬町 1 丁目地区